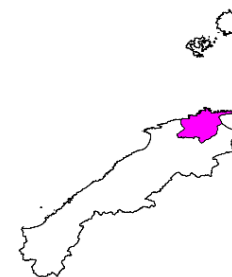


「給食センター1品運動」で気づく地域の魅力

事業実施主体:松江市(島根県)

島根県松江市



- 松江市は、第2次健康まつえ21基本計画において、「みんなで支え合い健康寿命をのばそう」を基本理念に、市民一人ひとりが「食」に関する知識と「食」を自ら選択する力を持ち、楽しみながら自分の健康を維持する食習慣の実践を目指している。
- 当事業では、昨年度に引き続き市立小中学校の児童生徒を対象に生産者等の指導の下で農業体験を行い、収穫した野菜を学校給食の食材として取り入れる「給食センター1品運動」として、生産者との交流給食等を実施した。

【取組の内容】

給食センター1品運動

○ 農業体験の実施

- ・実施小中学校:11校
- ・実施内容:ごぼう、だいこん、さつまいも、キャベツの種まき、苗植え体験及び収穫体験等(学校により品目は異なる。)

○ 収穫野菜の学校給食での使用と交流給食の実施

- ・管轄給食センター(8)・給食室(1)による収穫野菜の学校給食での提供:各施設1~8回
- ・指導生産者等との交流給食:7回(うち、ごぼう料理講習会:1回)
- ・給食センター見学:1回



さつまいもの苗を植えたら、しっかり水やり



みんなで協力してさつまいも掘り

【取組の成果】

- 農業体験では、食生活がたくさんの人々の様々な活動に支えられていることに気づき、食に対する理解を深めるとともに、自らが生活する地域の魅力に接し、児童生徒のみならず、学校関係者における地産地消の理解増進に寄与した。

- 交流給食では、児童生徒から生産者に体験を通しての感想や感謝の気持ちを直接伝え、意見交換することで、双方の理解が深まる有意義な機会となった。



収穫したさつまいもが入った白菜のクリーム煮

- 料理講習会では、農業体験で栽培したごぼうだけでなく、地場産の米、野菜、みそ等を使用したことで、地元の特産物や伝統食・行事等についてもっと知りたいなど、児童生徒の学習意欲が高まった。



「きんぴらごぼう」作りに挑戦!



ごぼうの香りいっぱい「ごんぼ飯」と「ごんぼ汁」

